



今年行われる予定の選挙

参議院議員通常選挙

7月28日の任期満了に伴い、選挙が行われる予定です。

🌹 昨年の選挙の結果

昨年は、新潟県知事選挙（10月21日）と衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査（12月16日）が行われました。それぞれの年代別投票率を表とグラフに示してあります。

最近の若者の投票率の低迷は全国的な課題になっていますが、小千谷市でもグラフではっきりわかるとおり、この傾向が続いています。明日の小千谷市を担う若い有権者のみなさん、棄権することなく積極的に投票に参加しましょう。

年代別投票率

●新潟県知事選挙

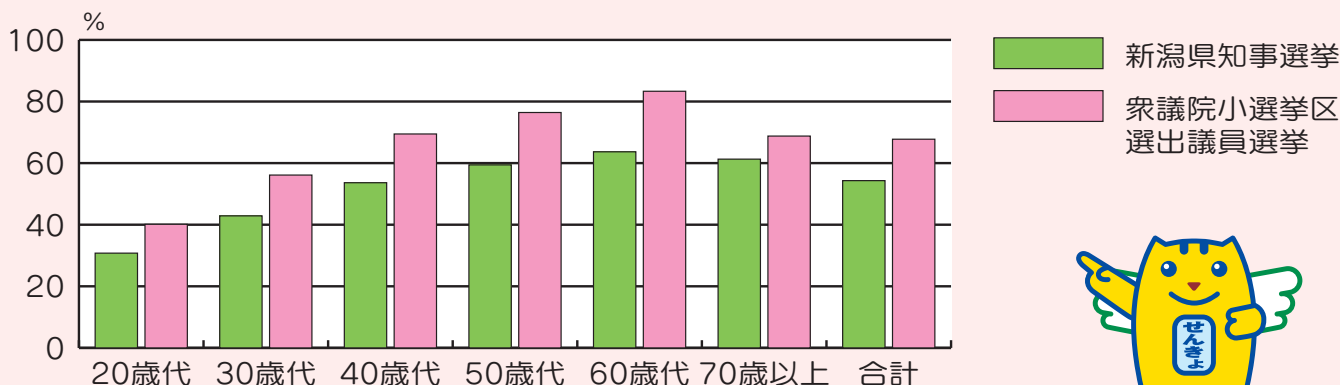
(%)

	男	女	計
20歳代	28.91	32.67	30.77
30歳代	40.55	45.32	42.87
40歳代	51.58	55.94	53.63
50歳代	58.12	60.74	59.42
60歳代	61.51	65.66	63.67
70歳以上	67.86	56.65	61.29
合計	53.78	54.81	54.31

●衆議院小選挙区選出議員選挙

(%)

	男	女	計
20歳代	38.17	42.17	40.13
30歳代	55.00	57.30	56.12
40歳代	70.20	68.62	69.46
50歳代	75.82	77.05	76.43
60歳代	84.34	82.39	83.33
70歳以上	78.25	62.09	68.78
合計	69.43	66.20	67.76



※投票率は、第1・2・11・37投票区の4投票所を抽出しています。

選挙の豆知識

めいすいくん を知っていますか？



明るい選挙推進のイメージキャラクターとして、平成12年4月に誕生した「選挙のめいすいくん」。

めいすいくんは投票箱をモチーフにしているので、頭部の2本の縦線は投票用紙挿入口を表しています。そして、背中には明るい選挙を目指して飛び立つための羽も付いていて、おしりには、投票箱が簡単に開かないようにしっかり鍵も付いています。

みなさんも可愛がってくださいね。



投票所入場券はチケット？

投票日が近づくと、選挙管理委員会から投票所入場券が送られてきます。これは映画のチケットなどとは違い、これがないと投票所には入れないというものではありません。

入場券は、投票所で選挙人が本人であるかどうかの確認をスムーズに行うためのものです。入場券を持参しなくても、選挙人名簿と対照の結果、本人と確認できれば投票できます。また、持参した場合でも、必ず本人かどうかの確認手続きを行います。

投票用紙は なぜつるつるしてるの？

投票用紙には、開票作業の省力化のためのある「工夫」がされています。

投票用紙自体が特殊な紙でできていて、折り曲げて投票箱に入れられたものが、時間が経つと自然に開くようになっています。そのため、投票用紙は表面がつるつるしています。

今度、投票に行かれたときにさわって確認してみてください。



投票立会人の役割は？

投票事務の執行に立ち会い、公正に行われるように監視します。

具体的には、投票手続きの立ち会いや投票箱の送致立ち会いなどを行います。その人数は、2人以上5人以下（期日前投票立会人は2人）と決められています。



テレビなどの「当選確実」は誰が決めるの？

テレビで選挙の開票速報番組を見ていると、開票がはじまったばかりなのに「当選確実」と報道されることがあります。

これは、報道機関がそれぞれの調査で当選が確実と判断した場合に独自に行っているもので、選挙管理委員会が発表しているものではありません。

当確



選挙に関するお問い合わせは、選挙管理委員会へ☎83-3506